

カリフォルニア州： 気象と状況と米の作柄概況

2002 年 9 月 17 日

2002 年 9 月 15 日現在：

稲の収穫に向かい水田から水を落とす圃場が増えている。9 月の 12 日及び 13 日に強い南風が盆地南部にあった。南風は湿気を帯びている事が多いが、一般にこの時期の風を稲作農家は稲穂が急激に乾燥するという理由より特に嫌う。又、夜半の気温の低下は稲が露に濡れ、日中この露が乾く事で粒にヒビが生じる事がある。稲の乾燥段階で粒に生じる細かなヒビが“花咲米”の原因と思われる。9 月 15 日現在カリフォルニア米の作柄は良好である。全州の 6%の米圃場が収穫された。昨年同期では 14%の圃場で収穫が完了していた。平年で 11%。

9 月 1 日 USDA 予想では、カリフォルニア米（短・中・長粒計）作付面積は 523, 000 エーカー、収穫予想面積は 521, 000 エーカー、単位収量：8, 100 ポンド（昨年：8, 170 ポンド）、収穫量は 42, 201, 000 ブッシェル（昨年：38, 490 千 Bu）と予想している。9 月 1 日現在では、クラス毎の単位収量の予想は発表されていない。

生育状況：

	This week	Last week	Last year	5yr. Ave.
Harvested (%)	6	2	14	11

参考：南部米生育概況：

Harvested (%)	This week	Last week	Last year	5yr. Ave.
Arkansas	39	23	46	39
Louisiana	87	80	85	88
Mississippi	38	23	43	45
Missouri	21	6	19	13
Texas	97	95	92	90

カリフォルニア米作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
California	0	0	30	25	45

Sources: California Agricultural Statistics Service; Cooperative Extension, University of California

当該作柄レポートへのご質問又はご意見は下記にお願い致します。

OMIC USA Inc., Portland Oregon

小川正晃

Email: ogawa.max@omicnet.com